

番号	特定開発事業 の 名称	特定開発事業 を行う土地 の位置及び 区域	特定開発 事業者	特定開発 事業の目的	特定開発事業の概要				温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容					再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果※1										特定建築物に 係る地球温暖 化対策の措置 の評価の目標	特定建築物に 係る地球温暖 化対策の措置 の評価の結果	工事の 着手予定 年月日	工事の 完了予定 年月日	届出の状況		
					特定開発 事業を 行う区域 の面積 (㎡)	予定建築物の概要			エネルギー使用 の合理化	ヒートアイランド現象 の緩和	交通環境 への配慮	緑の保全と創出	工事に係る 配慮	太陽光発電						特定建築物に 係る地球温暖 化対策の措置 の評価の目標										
						棟番号	用途	延べ面積 (㎡)						備考	太陽光発電 の 定格 出力 (kw)	太陽熱利用	風力発電	バイオマス 発電、熱利用	水力発電		温度差熱利用	潜熱回収型給湯器	ＬＥＤ照明設備					ヒートポンプ給湯器	その他設備 ※2	
012	自衛隊横須賀病院	横須賀市田浦港町446番42、446番44、446番46、446番47、無番地の各一部	南関東防衛局南関東防衛局長末富 理栄	自衛隊横須賀病院の移転、新築のため。	11,561.95㎡	棟1	病院	23,031.36	建築面積：5,562.35㎡ 構造：鉄筋コンクリート造 地上5階 地下1階	照明の省エネルギー化の実施 ・病室は十分大きい開口を設け、自然採光を積極的に活用する計画とした。 ・病室はカーテン・底を組み合わせ、昼光を制御する計画とした。 ・病室のベッドには、ヘッドライトを設置し個々で制御可能とした。	緑化による地表面の改善 ・駐車場及び歩道に接する位置に緑化部分を設け、適切な位置に散水設備を配置する計画とした。	自動車利用の抑制 ・歩行者が利用しやすいよう、正面玄関部前面にはキャノピーを設置する計画とした。 ・自動車の円滑化 ・一般駐車場から離れた位置（地下1階）に、荷捌きスペースを確保する計画とした。	敷地内の緑の創出 ・駐車場及び歩道に接する位置に緑化部分を設ける計画とした。	環境負荷の少ない資材の調達 ・特定調達品目の採用を積極的に実施する計画とした。	△	△							●	△コーゼ	総合評価B＋以上 地球温暖化への配慮 ライフサイクル CO2 排出率95%以下 ヒートアイランド現象の緩和スコア 2.0以上	2024/6/1	2027/5/31			
013	(仮称)綾瀬市深谷上物流施設計画	綾瀬市深谷上8丁目6006番32の一部	T.C神鋼不動産株式会社 開発推進部担当執行役員吉田 重郎	倉庫業を営む倉庫の建設のため	11,654.06	1棟	倉庫 自動車庫事務所	24,907.08	建築面積：6326.39㎡ 構造：鉄骨造 地上4階	・外壁部分に高断熱建材を用いた建物の断熱化を図る。 ・倉庫部分に積極的にLED照明設備を導入する。	・綾瀬市開発行為に関する指導要綱第49条-3で定められている緑化基準15%を超える緑化を図る。 (15.03%、1,751.68㎡)	・駐車場を設置する。 ・荷捌き場を確保する。	・綾瀬市開発行為に関する指導要綱第49条-3で定められている緑化基準15%を超える緑化を図る。 (15.03%、1,751.68㎡)（再掲） ・開発事業によって生じた緑地においては、在来種（ヤマボウシ、ヤマモモ、ソコゴ）による緑化を図る。	・低燃費型建設機械を積極的に採用する。 ・アイドリングストップを励行する。 ・グリーン調達は積極的に実施する。	△	△						●	△コーゼ	総合評価 A以上 地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率80%以下 ヒートアイランド現象の緩和スコア2以上	2024/5/1	2025/8/31				
014	(仮称)箱根仙石原リゾートホテル新築工事	箱根町仙石原宇土橋4-1他	住友不動産株式会社 代表取締役佐仁島 浩順	箱根地域の増大する宿泊施設の需要に応え、ホテルを建設する。	16,221.6㎡	1	ホテル (共用棟)	2,035.00	建築面積：980.00㎡ 構造：鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 地上3階、地下0階	・LED照明設備を導入する。 ・高断熱建材を用いた建物の断熱化を図る。 ・電気自動車用充電設備を整備する。 ・建物の窓ガラスは、遮熱効果のあるLow-eガラスを採用する。 ・予定建築物において有効な自然採光を確保する。 ・予定建築物において有効な自然通風を確保する。 ・ホテル（1、4～25）棟に対する日射遮へいを中高木植栽によって図る。	・自然環境保全条例第22条に基づく「みどりの協定実施要綱」により、みどりの協定で定められている緑化率15%を超える緑化を図る。 (38.9%、6,297.2㎡) ・地被等を積極的に植栽し、中高木の緑地により日陰を形成する。 ・歩行者空間付近の建物は低層とし、風の通り道を確保する。 ・舗装範囲は最低限とし、開発区域内の自然被覆化を図る。 ・排熱のショートサーキットの防止を図る。（充分な吹出しと吸込みの確保） ・建築物の高い位置や風通しの良い場所等、熱が拡散しやすい位置で排熱。 ・開発区域内の自然被覆化を図る。（車寄せ、駐車場のみ舗装） ・地表面の被覆にあたっては、保水性・透水性の高い被覆材・舗装材を利用。（雨水流出抑制に伴い雨水浸透樹・トレンチを設置） ・建築物の見付け面積縮小等により、風の通り道を確保する。（勾配屋根とし見付け面積縮小を図る） ・緑地や水路、通路等の空地オープンスペースの連続性に配慮した、風の通り道を確保する。（通路に面して樹木を植栽）	・ホテル利用者用の駐車場を客室数と同等の台数で設置する。 ・地表面の被覆にあたっては、保水性・透水性の高い被覆材・舗装材を利用。（再掲） ・電気自動車用充電設備を整備する。（再掲） ・車路のみの国道沿いに歩道を整備する。 ・荷捌き場を確保する。	・自然環境保全条例第22条に基づく「みどりの協定実施要綱」により、みどりの協定で定められている緑化率15%を超える緑化を図る。 (38.8%、6,297.2㎡)（再掲） ・建物、通路、設備以外を積極的に緑化する。 ・街路樹を整備する。 ・積極的な既存樹の保存に取り組んで緑化を図る。	・環境ラベルのついた建設資材の二酸化炭素排出量の少ない資材を使用する。 ・再生資材の利用および建設廃棄物の再資源化を促進する。 ・建設資材の調達において、輸送距離の最小化や効率的な輸送を図る。 ・低燃費型・省エネルギー型の建設機械等を採用する。 ・車両、重機のアイドリングストップの推進等省エネルギー運転を実施する。 ・建設機械（車両、重機等）を適正整備する。	△	△					●	△コーゼ	総合評価 A以上 地球温暖化への配慮 ライフサイクルCO2排出率80%以下 ヒートアイランド現象の緩和スコア4以上	2024/5/13	2025/12/20					
015	(仮称)T-LOGI相模原新築工事	相模原市南区当麻宇溝之内418番1外	東京建物株式会社 代表取締役社長執行役員野村 均	特定流通業務施設	38,712.26	1(倉庫棟)	倉庫	94,014.07	鉄骨造 地上5階 建築面積 22,185.48㎡	・高効率なエネルギー設備（LED照明）を導入する。	・一部既存緑地の保全と可能な限りの緑化を図っています。 ・設備機器は排熱位置を考慮し、道路より奥に入った位置に配置し、歩行者等への影響軽減を図る。 ・相模原市の緑化基準（10%）を超える開発区域の緑地（10.14%）を確保しています。	・駐車場・駐輪場を設置する。 ・県道508号線の渋滞緩和のための、道路に車両が停滞しないよう敷地内に侵入・出庫の動線を考慮しています。	・相模原市の緑化基準（10%）を超える開発区域の緑地（10.14%）を確保しています。（再掲）	・低燃費型建設機械を積極的に採用する。 ・アイドリングストップを励行する。 ・グリーン調達は積極的に実施する。	△	△					●	△コーゼ	1(倉庫棟) 総合評価A以上 地球温暖化への配慮ライフサイクルCO2排出率71%以下 ヒートアイランド現象の緩和スコア3以上	2024/4/1	2025/12/28					
016	(仮称)DPL小田原新築工事	小田原市鬼柳字地田167番3ほか2筆	大和ハウス工業株式会社 神奈川西支店支配人 齋藤 英樹	小田急小田原線富水駅から徒歩24分の工業地域に工場兼用事務所を計画した。	24,808.53	1	事務所・工場	24,562.58	建築面積：12,428.14㎡ 構造：鉄骨造 地上2階、地下0階	・太陽光発電設備を導入した。 ・LED照明設備を導入した。	・緑地面積3,902.66、緑化率15.7%の緑化を実施した。	・40台の駐輪場・93台の駐車場を設置した。 ・18台の荷捌き車両の駐車場を設置した。 ・5台の大型車待機場を設置した。	・緑地面積3,902.66、緑化率15.7%の緑化を実施した。（再掲）	・車両、重機のアイドリングストップを実施した。建設機械の適正整備を実施した。	●	22.05	△				●	△コーゼ	総合評価A以上 地球温暖化への配慮ライフサイクルCO2排出量72%以下 ヒートアイランド現象の緩和スコア2以上	2023/6/15	2024/6/28	2024/5/30 開発事業者	2024/5/31			
						2	駐輪場	21.00	建築面積：10.05㎡ 構造：鉄骨造 地上1階、地下0階																					
						3	駐輪場	21.00	建築面積：10.05㎡ 構造：鉄骨造 地上1階、地下0階																					
						合計		24,604.58																						

番号	特定開発事業 の名称	特定開発事業 を行う土地 の位置及び 区域	特定開発 事業者	特定開発 事業の目的	特定開発事業の概要				温室効果ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容					再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果※1														特定建築物に 係る地球温暖 化対策の措置 の評価の目標	特定建築物に 係る地球温暖 化対策の措置 の評価の結果	工事の 着手予定 年月日	工事の 完了予定 年月日	届出の状況	
					特定開発 事業を行う区域 の面積 (㎡)	予定建築物の概要			エネルギー使用 の合理化	ヒートアイランド現象 の緩和	交通環境 への配慮	緑の保全と創出	工事に係る 配慮	太陽光発電																		変更届	完了届等
						棟番号	用途	延べ面積 (㎡)						備考	太陽光発電 の 定格 出力 (kw)	太陽熱利用	風力発電	バイオマス 発電、熱利用	水力発電	温度差熱利用	その他	潜熱回収型給湯器	LED照明設備	ヒートポンプ給湯器	その他設備※2	変更(予定) 年月日及び 変更事項 ※3	完了 (中止) 年月日						
018	(仮称)横浜市戸塚区前田町計画 新築工事	横浜市戸塚区前田町100番2他	関電不動産開発株式会社代表取締役 藤野 研一 株式会社ジェイアール東日本都市開発代表取締役 根本 英紀 パナソニックホームズ株式会社 都市開発事業部 首都圏支店 支店長 田中 智 神奈川中央交通株式会社代表取締役 今井 雅之	共同住宅建設の為	18,652.68	1	本棟	38,094.66	建築面積：7,132.02㎡ 構造：RC造 地上7階(482戸)	・高効率な給湯設備(エコキュート)を導入する。 ・太陽光発電設備を導入する。 (定格出力10kwを予定) ・共有部分照明設備はタイマー及びセンサーによる制御を行う。 ・LED照明設備を導入する。 ・電気自動車用充電設備を整備する。(EV充電器を設置予定) ・熱電源設備において、ヒートポンプ利用設備を導入する。	・横浜市開発事業の調整等に関する条例に基づいて、緑化基準 敷地面積の10%以上の緑化を行う。 (緑化率：19.49%、緑化面積：3,409.34㎡) ・浸水性のあるアスファルト舗装の採用を予定する。 ・各住棟で十分な隣棟間隔、敷地境界から離れた位置で計画し風の通り道を確保する。 ・室外機前に十分な開放スペースを確保し排熱のショートサーキット防止を図る。	・駐車場(217台)、駐輪場(820台)、バイク置き場(27台)を設置予定。 ・荷捌きスペースを確保する。 ・横浜市福祉のまちづくり条例に適合した動線計画とし、歩きやすく快適な歩道を整備している。 ・浸水性のあるアスファルト舗装の採用を予定する。 ・電気自動車用充電設備を整備する。(EV充電器を設置予定)(再掲)	・改変箇所においてはアラカシ・タブノキ・ケヤキ等の在来種による緑化を図る。 ・横浜市開発事業の調整等に関する条例に基づいて、緑化基準 敷地面積の10%以上の緑化を行う。 (緑化率：19.49%、緑化面積：3,409.34㎡)(再掲) ・植栽帯や緩衝緑地帯として、共同住宅敷地内及び道路沿いに高木等栽種を行う。	・アイドリングストップを励行する。 ・敷地外からの土砂の搬入を抑えるため、掘削残土の再利用を敷地内で行う。	●	10	△						△	●	△	●	△	CASBEE横浜による総合評価B＋以上	2025/1/15	2027/2/15			
2	電気室2	43.40	建築面積：44.17㎡ 構造：RC造 地上1階																														
3	電気室3	24.34	建築面積：25.15㎡ 構造：RC造 地上1階																														
4	ポンプ室	11.39	建築面積：14.11㎡ 構造：RC造 地上1階																														
5～7	バイク置場	55.76	建築面積：55.76㎡ 内訳(計3棟) (5)17.28㎡ (6)17.28㎡ (7)21.20㎡ 構造：S造 地上1階																														
8～18	駐輪場	852.21	建築面積：495.81㎡ 内訳(計11棟) (8)35.62㎡ (9)40.62㎡ (10)35.62㎡ (11)19.89㎡ (12)31.59㎡ (13)49.77㎡ (14)39.78㎡ (15)22.31㎡ (16)48.94㎡ (17)38.95㎡ (18)132.72㎡ 構造：S造 地上1階																														
合計		39,081.76																															

※1 再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果の表記の説明
△：検討を行った設備
●：検討を行い、導入を予定している設備
◎：検討を行い、全量売電するために導入を予定している設備

※2 「再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果」の「その他設備」欄における表記の説明
高効率空調設備：ヒートポンプ技術を用いた高効率の空調設備
LPガス自動車：ディーゼル代替LPガス自動車
コージェネ：コージェネレーションシステム（ガスエンジン給湯器及び燃料電池以外で、エネルギー消費効率の高いものに限る。）
EMS：エネルギーマネジメントシステム（エネルギー消費量の計測、記録及び表示並びにエネルギー利用設備の制御を行う機能を有するものに限る。）

※3 「届出状況」の「変更届」欄における変更事項の表記の説明
措置の内容：温室ガスの排出の抑制を図るため実施しようとする措置の内容
再エネ活用検討：再生可能エネルギー等の活用に係る検討の結果に変更があった場合
措置及び評価の目標：特定建築物に係る地球温暖化対策の措置及び評価の目標に変更があった場合